

目標の柱	2	就労対策・企業支援と戦略的な取り組みによる町民所得の向上
基本目標(政策)	2-3	町民所得の向上を図ります(産業振興)
基本計画(施策)	2-3-1	・農業分野での挑戦

	課	係
主管課・係	農林課	農政係
	商工観光課	商工振興係
関係課・係	農林課	農林土木係
	農林課	林政係
	各総合支所振興課	農林建設係

【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか? ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①農業が盛んになり、農業のみで生活する若者が増えている。 ②地産地消が推進され、農業製品のブランド化が推進される魅力的な産業になっている。 ③農業を志す人が就農しやすい環境が整備されている。</p>																																								
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか?</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか?箇条書きで記載してください。</p> <p>①農業を専業とする若者の増加 ②町内外に広く認識され、自信と誇りを持てる産業に成長 ③新規就農者の総合的な受入環境の充実</p>																																								
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>平成29年度</th> <th colspan="2">平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 新規就農者数(累計)</td> <td>人</td> <td>61</td> <td>67</td> <td>65</td> <td>69</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>B 認定農業者数</td> <td>人</td> <td>115</td> <td>120</td> <td>117</td> <td>120</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>C 農業収入平均額※</td> <td>千円</td> <td>2,499</td> <td>2,600</td> <td>2,599</td> <td>2,650</td> <td>2,700</td> </tr> <tr> <td>D 重点振興作物栽培面積</td> <td>ha</td> <td>66.0</td> <td>68.0</td> <td>61.4</td> <td>62.0</td> <td>70.0</td> </tr> </tbody> </table>		単位	平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	A 新規就農者数(累計)	人	61	67	65	69	72	B 認定農業者数	人	115	120	117	120	140	C 農業収入平均額※	千円	2,499	2,600	2,599	2,650	2,700	D 重点振興作物栽培面積	ha	66.0	68.0	61.4	62.0	70.0
	単位			平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度																																	
		実績値	目標値	実績値	目標値	目標値																																			
A 新規就農者数(累計)	人	61	67	65	69	72																																			
B 認定農業者数	人	115	120	117	120	140																																			
C 農業収入平均額※	千円	2,499	2,600	2,599	2,650	2,700																																			
D 重点振興作物栽培面積	ha	66.0	68.0	61.4	62.0	70.0																																			
<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか?</p>	<p>5 令和2年度の目標値達成の見込みと方向付け</p>																																								
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ③ ほぼ目標値どおり</td> <td>南郷トマトで4名が就農した。</td> <td>② このままで達成可能</td> <td>農業次世代人材投資事業(国事業)が始まった平成24年度以降、新規就農者が増えており、すでに当初目標(41人)を達成済み。</td> </tr> <tr> <td>B ④ 下回った</td> <td>新たに認定された方もいるが、高齢等を理由に更新しない人もいるため</td> <td>④ 達成は困難</td> <td>毎年、新規認定者はいりますが、高齢を理由に更新しない方の人数が増えており、目標達成は難しい状況にある。</td> </tr> <tr> <td>C ③ ほぼ目標値どおり</td> <td>小規模農家が減少し、大規模農家へ集積が進んできたことが考えられる。</td> <td>③ 取組改善で達成可能</td> <td>担い手への集積を進め、生産性の向上、コストの削減、重点振興作物の生産拡大を推進する。</td> </tr> <tr> <td>D ⑤ 大きく下回った</td> <td>高齢等を理由にアスパラ、花き類で栽培者が減少したため</td> <td>④ 達成は困難</td> <td>栽培者数が年々減少しているため、栽培面積も減少傾向にある。平成29年度に目標値変更(74.8⇒70.0)</td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ③ ほぼ目標値どおり	南郷トマトで4名が就農した。	② このままで達成可能	農業次世代人材投資事業(国事業)が始まった平成24年度以降、新規就農者が増えており、すでに当初目標(41人)を達成済み。	B ④ 下回った	新たに認定された方もいるが、高齢等を理由に更新しない人もいるため	④ 達成は困難	毎年、新規認定者はいりますが、高齢を理由に更新しない方の人数が増えており、目標達成は難しい状況にある。	C ③ ほぼ目標値どおり	小規模農家が減少し、大規模農家へ集積が進んできたことが考えられる。	③ 取組改善で達成可能	担い手への集積を進め、生産性の向上、コストの削減、重点振興作物の生産拡大を推進する。	D ⑤ 大きく下回った	高齢等を理由にアスパラ、花き類で栽培者が減少したため	④ 達成は困難	栽培者数が年々減少しているため、栽培面積も減少傾向にある。平成29年度に目標値変更(74.8⇒70.0)																					
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																						
A ③ ほぼ目標値どおり	南郷トマトで4名が就農した。	② このままで達成可能	農業次世代人材投資事業(国事業)が始まった平成24年度以降、新規就農者が増えており、すでに当初目標(41人)を達成済み。																																						
B ④ 下回った	新たに認定された方もいるが、高齢等を理由に更新しない人もいるため	④ 達成は困難	毎年、新規認定者はいりますが、高齢を理由に更新しない方の人数が増えており、目標達成は難しい状況にある。																																						
C ③ ほぼ目標値どおり	小規模農家が減少し、大規模農家へ集積が進んできたことが考えられる。	③ 取組改善で達成可能	担い手への集積を進め、生産性の向上、コストの削減、重点振興作物の生産拡大を推進する。																																						
D ⑤ 大きく下回った	高齢等を理由にアスパラ、花き類で栽培者が減少したため	④ 達成は困難	栽培者数が年々減少しているため、栽培面積も減少傾向にある。平成29年度に目標値変更(74.8⇒70.0)																																						
<p>6 「目指すべき状態」に対し、これまでどのような取組を行いましたか?</p>	<p>▼「目指すべき状態」の実現に向けて、取り組んだことは何ですか?箇条書きで記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏での新規就農相談会への出展や就農相談の実施 ・ブランド化推進のための米づくり講習会の実施 ・学校給食への米野菜等の供給 ・新規就農者のための就農促進住宅の建設 ・重点振興作物産地拡大のための種苗や資材等の購入経費補助の実施 																																								
<p>7 施策の「対象」の現状はどのように変化しましたか?</p>	<p>▼ 現状把握に努めましたか。把握した現状とその変化、町民や議会の声などを記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業後継者として意欲を持って就農する農家の若者が増えてきた。 ・南郷トマト、会津田島アスパラの知名度は上昇・定着しているが、米のブランド化は思うように進んでいない。 ・Iターンの新規就農者の受入が毎年続いている。 																																								

【施策の振り返り】

<p>8 2の成果目標の視点から、成果が上がったことは何ですか?</p>	<p>▼ 成果があったと思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏等からのIターン者が夫婦で就農されるケースが増えている。 ・南郷トマトは市場の評価、消費者の認知度がさらに高まり、生産者が自信と誇りを持って生産活動にあたっている。 ・新規就農者が国、町の補助制度を活用し、安心して研修を受けたり、就農を開始することができている。
<p>9 2の成果目標の視点から、問題点は何ですか?</p>	<p>▼ 問題があると思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Iターンの新規就農者は南郷トマト栽培者がほとんどで、研修制度が確立していないアスパラの新規就農者は現れていない。

【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>10 2の成果目標の視点から施策全体の今後の方向性は?</p>	<p>50歳以上の国の助成制度の対象から外れた方にも町の新規就農者支援事業を広くPRし、Uターン者、定年退職者、そして非農家出身者などの受け入れも強化していく。</p>										
<p>11 上記を踏まえ、施策の目的を実現させるためには、どのような「解決すべき問題への方策」・「達成できた事項をさらに伸ばす方策」がありますか? また具体的な対応・対策をどうしますか?</p>	<p>▼ 施策を実現するための「解決すべき問題への方策」と「達成できた事項をさらに伸ばす方策」を記入し、それらに対する今後の対応を具体的に記入してください。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:60%;">施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」</th> <th style="width:40%;">具体的な対応・対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南郷トマト以外の作物を栽培する新規就農者が増えない原因を探る。</td> <td>他品目の栽培農家の実態を調査する。県やJAと協力し検討会議を実施する。</td> </tr> <tr> <td>南郷トマトのIターン者に協力いただき、新規就農者の増加につながる事業を行う。</td> <td>Iターン者の取組を紹介した新規就農者募集チラシを作成し、スキー場で配付する。</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」	具体的な対応・対策	南郷トマト以外の作物を栽培する新規就農者が増えない原因を探る。	他品目の栽培農家の実態を調査する。県やJAと協力し検討会議を実施する。	南郷トマトのIターン者に協力いただき、新規就農者の増加につながる事業を行う。	Iターン者の取組を紹介した新規就農者募集チラシを作成し、スキー場で配付する。				
施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」	具体的な対応・対策										
南郷トマト以外の作物を栽培する新規就農者が増えない原因を探る。	他品目の栽培農家の実態を調査する。県やJAと協力し検討会議を実施する。										
南郷トマトのIターン者に協力いただき、新規就農者の増加につながる事業を行う。	Iターン者の取組を紹介した新規就農者募集チラシを作成し、スキー場で配付する。										

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和元年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)					
			事業費(千円)					
			30年度決算額	うち一般財源	元年度予算額	うち一般財源	2年度見込み額	うち一般財源
01	経営所得安定対策等推進事業【事業名変更】	農林課	目的	経営所得安定対策の推進及び加入促進を図る。				
			概要	国事業であり、経営所得安定対策の推進に必要な事務費及び人件費に要する経費を交付				
			成果	経営所得安定対策交付金の申請受付会場を設置し、対象者の確実な加入が図られている。				
		農政係	問題	特になし				
			対策					
			事業費	4,091	0	4,448	0	4,448
02	種苗等支援事業	農林課	目的	重点振興作物の産地づくりを推進するため、栽培面積の拡大を図る。 新植:2/3上限100万円 改植:1/3上限50万円				
			概要	町の重点振興作物の産地づくりを推進するため、新植及び改植を行う意欲のある農家等に対して、苗等の購入経費を補助				
			成果	実施主体7件に合計9,077千円を補助し、重点振興作物の栽培面積の拡大が図られた。				
		農政係	問題	特になし				
			対策					
			事業費	9,077	9,077	10,302	10,302	10,302
03	農業用資材支援事業	農林課	目的	重点振興作物の産地づくりを推進するとともに、品質・生産性の向上を図る。				
			概要	町の重点振興作物栽培に係るハウス被覆用ビニールの購入経費を補助				
			成果	実施主体11件に合計2,693千円を補助し、品質向上および生産性の向上につながった。				
		農政係	問題	特になし				
			対策					
			事業費	2,693	2,693	908	908	908
04	重点振興作物栽培支援事業	農林課	目的	重点振興作物の栽培振興を図る。				
			概要	新たに重点振興作物を10a以上栽培する農家に対して、栽培初年度の経営に要する関係機械・資材の購入経費を助成				
			成果	昨年度は要望がなかった。(新規就農者の場合は、新規就農者支援事業で同様の支援を実施)				
		農政係	問題	特になし				
			対策					
			事業費	0	0	0	0	0
05	実り豊かなふくしまの産地支援事業【事業名変更】	農林課	目的	園芸作物の生産拡大支援に係る資材の購入経費を補助				
			概要	県が採択した事業に対し、町が上乗せして補助(補助率 県町併せて7/10以内)				
			成果	実施主体3件に合計3,179千円を補助し、園芸作物の生産拡大につながった。				
		農政係	問題	特になし				
			対策					
			事業費	1,825	864	4,529	2,145	4,529
06	中山間地域等直接支払推進事業	農林課	目的	国土の保全、水源涵養や保健休養など多面的機能の維持、耕作放棄地発生の防止を図る。				
			概要	傾斜等により農業生産条件の不利益地域の国土の保全、多面的機能の確保、耕作放棄地発生の防止などに取組む地区に対し交付金を支給				
			成果	19件の協定集落に対し交付金を支給し、耕作放棄地の発生を防止することができた。				
		農政係	問題	特になし				
			対策					
			事業費	21,523	5,381	21,523	5,381	21,523
07	新規就農者支援事業	農林課	目的	就農意欲を喚起するため、研修期間中における支援と就農後の定着を図る。				
			概要	国事業の要件を満たさない就農希望者で、重点振興作物を約20a以上栽培する農家に対して、研修業務補助金・初度経営支援補助金を支給				
			成果	研修業務2人1,910千円、初度経営支援1人700千円、種苗等支援4人551千円、重点振興作物栽培支援3人2,400千円を補助し、新規就農者が就農後すぐに安定経営を始めることができた。				
		農政係	問題	特になし				
			対策					
			事業費	5,561	5,561	7,040	7,040	7,040
08	農業次世代人材投資事業【事業名変更】	農林課	目的	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため				
			概要	平成26年4月以降に新規就農した農業者(独立・自営就農時の年齢が原則45歳未満)に対して、青年就農給付金(国事業)を給付				
			成果	農業次世代人材投資資金(経営支援型)を給付し、新規就農者の経営の安定が図られ定着につながっている。(単独経営10名、夫婦共同経営10組20名)				
		農政係	問題	特になし				
			対策					
			事業費	36,970	0	35,250	0	24,000

09	多面的機能支払交付金	農林課	目的	地域ぐるみで農業用施設(排水路、農道、頭首工、ため池等)の保全管理を行い、施設の長寿命化を図る。					
			概要	農用地、水路、農道等の適管理及び農村環境保全活動に取り組む。					
			成果	地区での組織化と農地、農業用施設の保全及び農村環境の保全が図られた。田島15組織、館岩1組織、伊南6組織、南郷6組織 計28組織で実施					
		農林土木係	問題	本事業に取り組めない地区への支援の仕方					
			対策	単独で取り組めない地区は、隣接地区への共同取組み等を検討する。					
事業費	49,325	12,191	46,688	11,528	46,688	11,528			
10	県営事業負担金(農地整備)	農林課	目的	農業生産基盤及び環境基盤の整備を通じて、中山間地域の立地条件を活かした農業と活力ある農村づくりの促進を図る。					
			概要	県営中山間地域総合整備事業(西部地区)及び県営ほ場整備事業(田部地区)に対する町負担金を支出し事業を展開					
			成果	農家の労働力や維持管理の負担を軽減し、農村環境の改善による定住促進、将来的な農村の保全が図られた。					
		農林土木係	問題	未整備箇所の対応					
			対策	他事業による整備					
事業費	48,750	1,539	41,250	15,000	83,125	20,425			
11	農地耕作条件改善事業	農林課	目的	食料自給率の向上、農地集積を加速し、意欲ある農業者が農業を継続できる環境整備を図る。					
			概要	整備が必要な水路の新設、修繕工事を実施					
			成果	農業競争力が強化され、生産効率の向上が図られた。					
		農林土木係	問題	未整備地区の対応					
			対策	他事業による整備					
事業費	10,057	4,023	51,200	250	49,100	150			
12	集落維持発展事業	農林課	目的	地域住民が自主的かつ共同で取り組む水路・農地等の農地農業用施設の維持修繕に対する支援を図る。					
			概要	水路土砂上げを1集落(横町地区)及び取水施設の修繕を2集落(藤生地区・黒沢地区)で実施した。					
			成果	農地等が保全され、農業経営における維持管理労力も軽減されたことから、集落の維持発展の支援が図られた。					
		農林土木係	問題	基金を財源としているため、事業期間に限りがあること。					
			対策	多面的機能支払交付金事業への取組み支援					
事業費	1,080	0	2,000	0	2,000	0			
13	有害鳥獣被害対策事業	農林課	目的	耕作者等が行う被害防止対策費用及び有害鳥獣実施隊によるパトロールを行い、鳥獣による農作物等の被害軽減を図る。					
			概要	耕作者及び地区で取り組む対策費用への支援。「ニホンザル・イノシシ・ニホンジカ」を指定し、報奨金制度を設け捕獲強化を図る。					
			成果	対策費用への補助支援により被害が軽減された。また、捕獲報奨金制度により積極的な個体数調整が図られ、被害拡大を軽減した。					
		林政係	問題	被害エリアの拡大により耕作者個人の被害防除では対応が追いつかない。					
			対策	集落・耕作エリア単位の被害防除と個体数調整、生息環境整備を合わせた対策の実施					
事業費	16,212	15,548	16,870	15,330	40,000	18,000			
14	機構集積協力金交付事業	農林課	目的	農地の有効利用や農業経営の効率化を図る担い手に対し、農地利用の集積・集約化を進める。					
			概要	農地中間管理機構の制度を活用した賃貸借契約を締結することにより、機構集積協力金を交付					
			成果	農業の競争力強化のために不可欠な農業構造の改革と生産コストの削減を実現することができた。					
		農政係	問題	特になし					
			対策	元年度予算は12月補正で計上予定。					
事業費	8,926	0	0	0	0	0			
15	中山間地域所得向上支援対策事業	農林課	目的	地区の現状の把握と将来を展望した地域営農構想(担い手の確保)を調査し、高付加価値作物への転換や規模拡大による所得向上計画を作成し、ほ場整備の推進を図る。					
			概要	所得向上計画の策定及び支援に係る調査・調整等。					
			成果	荒海地区(川島・関本・小塩・古今・糸沢)及び鴉巣地区において、地域での営農構想及び所得向上計画を作成することができ、ほ場整備の推進が図られた。					
		農林土木係	問題	特になし					
			対策	荒海地区と鴉巣地区のほ場整備に成果を反映する。					
事業費	5,693	0							
16	農地・農業用施設災害復旧工事	農林課	目的	平成29年度の台風21号により被災した土地改良施設の早期復旧を図る。					
			概要	平成29年度の現年災として1か所を繰越明許とし実施し完了した。					
			成果	早期復旧を図ることにより、農業経営の安定に寄与するとともに、農業生産の維持が図られた。					
		農林土木係	問題	特になし					
			対策						
事業費	12,960	120							
事業費(一般財源)の合計(千円)			185,418	44,806	195,320	56,356	246,975	64,351	